

## —関連施設だより—

## 地域医療と高度先進医療を結ぶ急性期総合病院

岡田 憲明

一般財団法人博慈会 博慈会記念総合病院

Acute general hospital collaborating community medicine with advanced medical technology

Kenmei Okada

General Incorporated Foundation Hakujuikai Memorial Hospital

当院は東京都足立区鹿浜の地に所在し、北は埼玉県川口市と西は東京都北区と接しております。今年で開設52周年を迎え、設立当初から「地域医療に徹する」・「救急医療体制を確保する」・「患者様本位の高度先進医療を提供する」の3つのスローガンの元、地域密接型の急性期基幹病院として住民の健康と福祉の増進に貢献してまいりました。建物の老朽化ならびに東京都医療施設耐震化緊急整備事業により平成23年3月より3年計画で新病院の建築に取り組み、平成26年3月に竣工いたしました。現在は近代化した新病院に、最新の医療機器やIT機器を導入し、時代に適応した医療を提供しております。

当院は22科を標榜する306床の急性期総合病院であり、東京都災害拠点病院ならびに基幹型臨床研修病院の指定を受けております。また専門性を重視しており、日本医学会より（内科学会、呼吸器学会、呼吸器内視鏡学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、循環器学会、外科学会、整形外科学会、脳神経外科学会、形成外科学会、泌尿器科学会、放射線腫瘍学会、放射線学会、麻酔学会など）専門医の修練施設として認定を受けております。当院の関連施設として長寿リハビリセンター病院（療養型病床156床、回復期リハビリテーション病床35床）が隣接しており、さらに博慈会腎クリニック、博慈会田園クリニック（足立区舎人）ならびに博慈会高等看護学院が同じ法人組織の中にあります。急性期から回復期ならびに療養病床への転院、専門の外来透析、舎人地域での外来診療、看護学生の教育ならびに看護師の確保がスムーズに行えるよう緻密な連携を取りながら運用しております。

次に当院の診療の特徴を説明させていただきます。①1カ月の総外来患者数約19,000人、1カ月入院患者数約450人、平均在院日数14.2日、1カ月手術件数約270件のDPCIII群急性期病院（入院基本料7:1）②日本医科大学付属病院の特定関連施設であり、12科の標榜科において日本医大医局出身の常勤医師総勢31名、その他に外来での



非常勤医師が多数活躍しております。小児科領域では帝京大学附属病院の関連施設として4名の常勤医師が足立区では唯一の24時間体制で診療を行っております。そして両病院の前方ならびに後方病院として、その役割を今後も継続していく方針です。③内科領域は専門性を重視し、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病代謝内科に細分化され、高度な医療を提供しております。整形外科領域においても人工関節センターならびに脊椎センターを開設しております。④平成27年10月よりHCU8床を開設し、重症度の高い患者、手術患者や救急対応の患者の診療に取り組んでおります。⑤常時4から5名（内科系、循環器内科、小児科、外科系1~2名）の当直体制を確立し、区東北部の2次救急医療機関として救急医療に取り組んでおります。⑥基幹型臨床研修病院として毎年2名の臨床研修医を受け入れております。平成29年度より新専門医制度に移行するにあたり、日本医科大学附属病院ならびに帝京大学附属病院の連携施設として多くの専攻医を受け入れ、若い医師の研修の場を提供する予定です。⑦平成28年4月より博慈会医療連携・患者支援センターを開設し、医師、退院調整看護師、ソーシャルワーカー、事務職員が一体となって地域の医療機関との連携をより強固なものとすると同時に、患者目線に立った医療を提供し、患者さんを手厚くサポートしていくことに全力を注いでいます。

当院は以上のような特色を生かし、今後も地域の診療所や病院と大学病院などの高度先進医療機関を結ぶ橋渡しの役割を担っていきたいと考えております。伝統ある日本医科大学は私の母校でもあり、今後もお互いの絆を一層深めて実りのある関係を保っていければと考えております。何卒宜しくお願いいたします。

(受付 2016年1月29日)